

幕末明治の写真師列伝 第一百十二回 内田九一 補足一

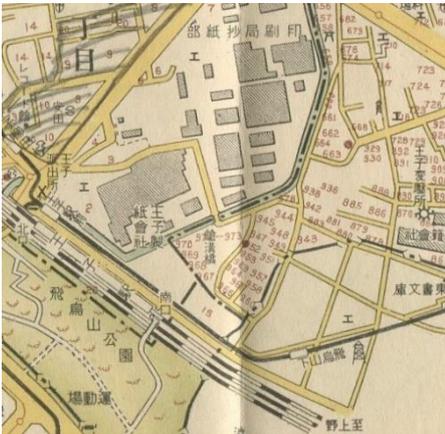
宮下欽については『通天楼日記』からの引用が今しばらく続くのだが、ここで恐縮ではあるが、最近新たに判明したことがあるので、以前に書いた内田九一伝の補足をこの場をお借りして書き残しておきたい。

2016年2月2日から2月28日まで、JCI PHOTO SALON で行われた『一古写真に見る明治の東京一荏原郡・東多摩郡・北豊島郡・南足立郡編』という古写真展があった。この古写真展は『大日本全国名所一覽』という古写真アルバムを順に紹介する古写真展の一つで僕も毎回、楽しみにしているのだが、この中に「飛鳥山より王子市中と製紙会社、印刷局抄紙部の眺め」という二枚連続のパノラマ写真があった。



明治10年～明治13年(1877-1880) 鶏卵紙 51×163mm

この写真は飛鳥山の上から眼下の抄紙会社(向かって左)と大蔵省印刷局抄紙部第一抄紙室(その右奥に煙突のある建物)の方面を撮影した写真なのであるが、よく見ると写真に中央に橋が写っており、この橋は滝野川が荒川に繋がる川(飛鳥山崖下沿いの川で、石神井川ともいう)に架けられた橋で、今の王子桜橋になる。この王子桜橋の左側は抄紙会社の敷地になり、右側に見える植栽が円形に並んだ場所とその手前の二軒並んだ屋敷地は、後に抄紙会社の電力工場が建てられた敷地にあたる。その二軒の屋敷で、左側の屋敷のさらに左手に冠木門が見えるが、この冠木門は抄紙会社の裏門になる。この冠木門に入ってまっすぐに石神井川沿いの道を進み、王子桜橋を渡って左に行くとか抄紙会社の敷地というわけだ。



左下が飛鳥山公園

王子駅をはさんで中央部が王子製紙会社

その右上部が大蔵省印刷局抄紙部

『大東京区分図三十五区之内 王子区詳細圖』

(東京地形社、昭和15年)より部分拡大

このパノラマ写真を僕が最初に見たのは、マリサ・ディ・ルツ、石黒敬章監修『大日本全国名所一覽—イタリア公使秘蔵の明治写真帖』(平凡社、2001年)が最初である。この時、僕は「この手前に見える屋敷は何の屋敷なんだろうか?」とふと思ったのだが、その後、すぐに忘れてしまった。

さて、長い前置きになってしまったが、僕は以前に『幕末明治の写真師列伝 第六十回 内田九一 その二十五』で、「内田九一は明治8年(1875)2月17日暁きに、その才能を惜しまれながら32歳の若さで肺病のため死去した。数年来、肺病にかかり吐血することも度々であったという。おそらく2月17日通夜、18日葬儀が行われたのであろう。そして2月19日、王子大字堀の内字郷戸(ごうと)、松本順(良順)の抱え屋敷内の松本家代々の墓地内に埋葬された。この松本順(良順)の抱え屋敷があった場所は、『蘭学全盛時代と蘭時の生涯』によると、「この江戸脱出の時良順は家族の者を松本累代の墳墓のある府下王子梶原村(今の王子製紙会社のある処)に移した」と書かれているが、しかし、この「(今の王子製紙会社のある処)」の部分は正確には間違いのようだ。『順天堂史』によると、明治5年(1872)4月10日に、松本順(良順)の父である佐藤泰然が、肺炎にて下谷茅町にて逝去した際に、葬儀が神式で行われ、初め王子堀之内にある松本家の墓地につくられたという。これはまだその当時、松本順(良順)の養父松本良甫が現存していて、佐藤泰然と若い時から親友で、死後も離れぬ約束をしていたからだという。その後、松本良甫の方は、明治14年(1881)11月に亡くなり、同じくこの佐藤泰然の墓の隣に葬られた。現在両者の墓は後に改葬されて、谷中墓地の同じ佐藤家の墓域の一隅に移されている。この松本順(良順)の抱え屋敷というのは、当時の行政区分でいうと北豊島郡王子大字堀の内字郷戸というところにあったようである。この場所は『松本家家譜』によれば、明治維新直前に松本順(良順)の妹タツの里親だった堀江松五郎の屋敷を購入したとあることから、現在の堀船1丁目3番地6号堀江隆氏宅の敷地内にあったと思われる。」と書いて、後日、『幕末・明治の写真師列伝』(雄山閣、2019年)所収の「内田九一」の章でもそのままにしていた。

2021年、王子に別件の古写真の撮影場所について調べに行くことがあって、そのついでに再び堀江隆氏宅(堀江商店)の敷地に行ってみることにした。その古い家にはもう誰も住んでいないようにも思えたのだが、広い敷地内の右奥に新しい家があることに気がついて、突然の訪問ではあるがそちらの家を訪ねてみることにした。するとちょうど日課の散歩に出かけようとしていたご主人(高橋利尚氏)と、やはり外出しようとしていたその奥様のお二人に話を聞くことができた。

その話によればこの堀之内郷戸地区には堀江家だけでも40軒くらいあり、堀江隆氏宅(堀江商店)は堀江松五郎家ではないという。

(つづく)
(森重和雄)